

第3号様式（第6条関係）

令和6年 4月18日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 戸田市まちづくり応援団

代表者職・氏名 代表 横山 誠

所在地

事業名	日本人と外国人の「やさしい日本語」を使った交流事業	
SDGsの該当ゴール	10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	
ホームページ	http://	
設立年月日	2023年 12月 17日 設立	
会員数	5人	
年会費	1,000円/1年間	
団体の目的	戸田市自治基本条例に則り、住みよいまちづくりの推進とまちづくりを担う個人、団体を応援することを目的とする。	

<p>主な活動実績</p>	<p>1. やさしい日本語交流会「Meetup」の実施 日時:2024年2月23日(金) 時間:13時から15時 場所:あいパル 1F ギャラリー他 参加者:日本人15名、外国人6名</p> <p>2. お花見:日本人と外国人の交流の場 日時:2024年3月30日(土) 場所:後谷公園 参加者:日本人 大人8名 子ども2名 外国人1名</p>
<p>これまでの補助金等の援助状況</p>	<p>戸田市共創のまちづくり補助金 コース:スタートアップ運営補助 50,000円</p>
<p>団体PRなど</p>	<p>当団体は昨年12月設立の発足間もない団体であるが、戸田市自治基本条例の理念に基づき、協働によるまちづくりを推進する市民団体として活動している。団体設立の目的は、①戸田市自治基本条例に基づく3者協働のまちづくりの推進、②地域課題に取り組む個人や団体の紹介、③市民相互の連携を図り、市民が自ら地域課題を解決する意識の醸成、④多文化共生の推進であり、今年度は、④の「多文化共生の推進」に力を入れて活動する。イベント開催時には広くボランティアを募集し、まちづくりに参与する喜びを味わって頂いている。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

<p>SDGsの該当ゴール:10人や国の不平等をなくそう、 11住み続けられるまちづくりを、 17パートナーシップで目標を達成しよう</p>
<p>現在戸田市には、様々な背景(留学生、技能実習生、国際結婚、就労等)をもつ、国籍や言語、宗教や習慣が違う外国人の方たちが生活している。その数は8,290人(令和6年4月1日戸田市町丁目別人口・世帯数集計)で、戸田市総人口の5.8%、全国自治体平均の約2倍である(令和6年3月22日付出入国在留管理庁報道発表より試算)。その意味では、戸田市はグローバルなまちであり、それが戸田市の特色ともいえる。但し、それは同時に様々な課題をもたらす。たとえば日本語での行政手続、学校教育、通院、ゴミ出し、交通ルール、買い物の仕方などである。日本の文化や習慣、言葉に不慣れな外国人には、ひとつひとつが頭を悩ます問題であり、たとえ悪意がなくとも時にトラブルに発展することもある。</p>

既に戸田市でも様々な取り組みがなされ、協働推進課では外国人市民相談窓口を配置し市役所内の手続きの支援を行っている。また、戸田市国際交流協会の日本語教室には多くの外国人が集い、日本語を学ぶ良い機会となっている。

しかし、それだけで十分かと言えば、そうではない。私たち市民が、戸田市の特性を理解し、それぞれの場所、立場で多文化共生に取り組むことが必要であろう。そうすれば、国籍や言語、習慣や宗教の壁を超え、外国人にとっても日本人にとっても住みやすいまち、住み続けられるまちを形成することが出来ると考える。

そのための具体的施策のひとつが今回計画している「やさしい日本語交流会 Meetup」である。このイベントでは、外国人が日本語学校で学ぶ同程度の「やさしい日本語」を学び、それをを用いて会話をする。そもそも日本語には難しい言葉、難しい言い回しが多く、外国人には難しい。その点を踏まえ、外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」を学び、それをを用いながら、お互いを知り、理解し、思いやる機会としたい。両者の間に対話が実現しなければ、思いやることは難しいからである。

また今回は、外国人による「やさしい外国語講座」(たとえば、中国語、ベトナム語、韓国語)も同時に行い、他国の言語、文化を学ぶ機会としたい。これは、市内在住の外国人を自治基本条例における「市民」と位置付け、彼らを単なるお客様ではなく、まちづくりを担うパートナーとして理解しているからである。

今年度の「やさしい日本語交流会 Meetup」は、日本人が外国人のために提供するイベントではなく、日本人と外国人が共に力を合わせ、民族の違い、言語の違い、宗教の違いを超えて、戸田市における多文化共生を目で見えるかたちで推進する活動としたい。

尚、年3回のイベントでは交流の機会が少ないことから、月1度、昼食を食べながらの「ランチ Meetup」を計画しているが、こちらは自主事業の位置づけとして補助対象事業から除いた。

今回私たちは「戸田市共創のまちづくり補助金【SDGs 応援事業補助】」を申請させていただくが、最後に記すマザーテレサ女史(ノーベル平和賞受賞者)の言葉に励まされながら、微力ながら17ある目標のうち3つの目標(10.人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう)を達成させたいと願っている。

「わたしたちの仕事はすべて大海の中の一滴にしか過ぎないものです。でも、この一滴を注がなくては、海の水は、一滴分減るのです。あなた自身にも同じことが言えます。さあ、始めましょう・・・ひとつずつ、ひとつずつ。」

2 事業の具体的内容

【やさしい日本語交流会(Meetup):日本人と外国人の交流会】を実施する。

開催時期(予定)

6月29日(土) 場 所:あいパル多目的室 4,5(市民ギャラリー)

9月23日(月・祝) 場 所:あいパル多目的室 4,5(市民ギャラリー)

2月24日(月・祝) 場 所:あいパル多目的室 4,5(市民ギャラリー)

対象者:国籍・年齢を問わず、お互いを尊重し、知り合い、助け合い、学んでいく姿勢がある人

内容:各回内容を2部構成で行う

I部 チャレンジ(言語別講座、やさしい日本語他)

趣旨

日本人も外国人も互いに「日本語」で話せることを実感する学びの機会とする。過去に「やさしい日本語講座」を受講した日本人には、今度は「外国語」にチャレンジし、外国語で話せることを実感できる学びの機会とする。外国語の講師は市内在住の外国人や留学生とし、自分の国の文化を伝える機会、理解してもらい喜びを得られる機会とする。

プログラム:【言語別講座「チャレンジ」】「やさしい日本語講座」「やさしい中国語講座」「やさしいタガログ語講座」など(30分)

参加費:500円(資料代、保険代として)

II部 交流会

趣旨

お互いの共通語として「やさしい日本語」で話すことで、外国人は自分が話す日本語が通じるか試したり、通用することを実感することが可能となり、日本での生活の不安や恐れを解消することができる。また日本人は、相手に寄り添い「やさしい日本語」で話すことで、外国人との交流を深め、意思の疎通を通してより良いコミュニケーションを築くことができる。

参加費:無料

プログラム:「やさしい日本語」を使っての日本人と外国人の交流会(80分)

- ① 全体で目的の共有
- ② テーブル毎にアイスブレイク(自己紹介など)
- ③ テーブル毎にテーマに沿って話をする
 - ・季節の話題 ・公共交通機関 ・買い物 ・災害対策 ・病院
 - ・学校 ・子育て ・仕事 ・家族 ・将来
- ④ 話した内容や感想についての発表
- ⑤ 次回のお知らせ
- ⑥ トマト発行の「ボランティア診断チャート」を紹介し、参加者自らが興味関心のある市民活動に参加できるようアナウンスする。

- ⑦ 交流会後に「アンケート」を実施し、参加者には「やさしい日本語」の缶バッジを配布する。



Ⅱ部はリラックスした雰囲気でお茶やお菓子などを食べながら行い、市内のお店が協賛していただければお店のPRなどもする。

周知方法:公共施設へのチラシ配架、公式戸田市 SNS への投稿、戸田市まちづくり応援団、やさしい日本語交流会 Meetup の SNS、及び交流会実行委員の個人の SNS

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
5月10日(金)	打ち合わせ(チラシ、資料作成)
6月3日(月)	買い出し
6月8日(土)	やさしい日本語交流会 Meetup
6月10日(月)	反省会と次回打ち合わせ(チラシ等)
9月13日(金)	打ち合わせと買い出し
9月23日(月)	やさしい日本語交流会 Meetup
9月28日(土)	反省会と次回打ち合わせ
1月10日(金)	打ち合わせ(チラシ等)
2月20日(木)	打ち合わせと買い出し
2月24日(月)	やさしい日本語交流会 Meetup
3月1日(土)	反省会と次年度打ち合わせ

4 事業の成果目標 (具体的数値を用いてください。)

【数値目標】やさしい日本語交流会 Meetup への参加者目標

I チャレンジ(言語別講座、やさしい日本語他) 10人/1回

II 交流会 20人/1回

【成果目標】

本事業を通して、日本人、外国人を問わず参加者が次のことを考えたり、事業参加後に行動が変わることを目標とする。

1. 日本人も外国人も互いに「日本語」で話せることを実感する。
2. 外国人が抱えている課題などを解決するきっかけをつくる。
3. 日本人と外国人が互いに理解し合い、学び合う。
4. 国籍を超えた、地域のつながりづくりの第一歩にする。

目標達成の測定方法:交流会後のアンケート

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000-	
	その他		
自己資金			
会費		6,000-	
利用者負担金		15,000-	3回×10人×500円 Meetup 受講料より
協賛金・寄附		13,000-	
その他			
合 計		84,000	

【支出】

科 目		予 算 額	内 訳
補助 対象 経費	使用料	14,130-	(550+1,020) ×3時間×3回 あいパル多目的室4、5(市民ギャラリー)
	食糧費	9,000-	3,000×3回 (参加者お茶代150円×20人×3回)
	印刷製本費	5,010-	Meetup チラシ400枚(①1,670)×3回
		5,000-	教材・資料作成(コピー代)
	委託費	19,000-	チラシデザイン料
	消耗品費	1,780-	缶バッジ素材
	謝礼金	6,000-	講師謝礼 1,000×2人×3回 外国語講師
		9,000-	講師謝礼 3,000×3回 日本語講師
保険料	1,680-	行事用保険 560(20名)×3回	
小 計		70,600-	内訳 補助金申請額：50,000-
			自主財源： 20,600-
補助 対象 外 経費	その他	1,400-	会議費
	謝礼金	12,000-	3回×10人×500円 Meetup 受講料より 各担当講師へ
小 計		13,400-	
合 計		84,000-	